

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 2 日

事務事業名		桜川市工業会運営支援事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 040202000527		
		総合計画の施策名 0402 商工業の振興				単独/補助		050301		
政策体系	政策名	04 活力ある産業のまちづくり				主要事業		所属課 商工観光課		
	施策名	02 商工業の振興				市長マニフェスト				
	手段名	02 ②商工業の経営基盤強化				未来PJ事業		グループ 商工グループ		
						合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	02	01	00	単年度繰返し (年度~)			
法令根拠							商工振興事業			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 桜川市工業会は、平成元年につくば真壁工業団地内企業と既存の地元企業の融和を目的として設立された。毎年市民祭での出店や、ボウリング大会等の会員企業の交流行事を行っている。 ・主な事業内容 総会、福利厚生事業(巡回検診の斡旋)、体育事業(企業親善ボウリング大会)、PR事業(雛巡りマップ作成) ※平成24年度までは市から補助金を支出していたが、22年度補助金検討委員会の意見により終期設定され、補助金は24年度までで終了。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務】 ・役員会・総会の開催、文化事業及び体育事業の準備、打合せの取り、PR 事業のひな巡りマップの校正、事業に伴う会計事務等。 【主な活動】 ・会議の開催(総会:年1回、役員会:年3~4回程度) ・企業親善ボウリング大会 ・PR事業(ひなまつりでのパンフレット作成・配布) ・健診の斡旋・補助

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・会議の開催(総会:年1回、役員会:年3~4回程度) ・企業親善ボウリング大会 ・PR事業(ひなまつりでのパンフレット作成・配布) ・健診の斡旋・補助	会議等の回数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	実施事業数	事業	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
桜川市工業会会員企業	会員企業数	社	12.00	14.00	15.00	15.00	15.00
	会員企業従業員数	人	375.00	370.00	380.00	380.00	380.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
桜川市工業会会員企業数が増加し、会員企業の活動が活性化する。	会員企業増減数(前年比)	社	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	会員企業従業員数増減数(前年比)	人	8.00	5.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	160.00	160.00	160.00	
	人件費計(B)	千円	468	468	468	
トータルコスト(A)+(B)		千円	468	468	468	

29年度事業費 実績(千円)

30年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳						
		合計		0		合計

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容

31年度の事業内容

32年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	桜川市工業会運営支援事業	事務事業No.	40202000527	所属課	商工観光課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 桜川市工業会はつくば真壁工業団地に誘致された新規企業と既存の市内操業企業との交流を図る目的で旧真壁町主導で平成元年に設立された。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・平成22年度の補助金検討委員会の答申として、平成24年度の助成を以て当該補助金を廃止すべきという意見のため、廃止になった。 ・会員企業からは補助金の復活の要望がある。また、補助金が廃止になっても、事務局は市でやってもらいたいとの要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 工業会の活動は福利厚生などもあり、桜川市内立地企業懇談会や商工会工業部会と異なるため、現在のような事業が継続できなくなる。事務局の業務について会員企業の負担が大きくなるため、事業の継続が難しくなる。解決策としては、工業会の要望に配慮した形で他団体との統合を行うことだが、現会員からは統合に対する反対意見がある。	
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市工業会は、市内の工業者が互いに情報交換、親睦・融和を深めることを目的として活動している。市の工業振興施策として、工業系事業所の組織化や異業種交流などの活動支援があり、当該事業は政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	事務局を市が担っているため、人件費の負担がある。本来は会員企業で行うべきであり、見直しの余地がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	会員企業の倒産、撤退などで会員数が減少し、活動は年々縮小傾向にある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響無	特になし。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	具体的な手段、事務事業名 桜川市内立地企業懇談会
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費はない。 人件費については、年間の業務時間が多いため、今後事務局を会員企業に持ってもらえるようになれば人件費の削減余地はある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	会費を徴収しており、費用負担は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) H29は1社が脱会。企業間の交流が目的であるが、毎年ひなまつりのマップを作るなど地域への貢献を行っている。																							
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 自主運営できるよう進めていく。		(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td></td> </tr> </table>		成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																			
成果優先度評価結果																									
コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---